

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	リハビリテーション科学、健康科学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教（産休代替） 2018年4月 - 2024年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教 2021年4月 - 2024年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 助教 2024年4月 -現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 准教授 2024年4月 -現在に至る 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会（学術局編集部, 編集部長）、日本運動器理学療法学会(専門会員A)、日本基礎理学療法学会(専門会員A)、専門リハビリテーション研究会（編集委員）、肩関節学会(準会員1号)、日本軟骨代謝学会、Osteoarthritis Research Society International (OARSI),日本整形内科学研究会、日本エビジェネティクス研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	Am J Sports Med . 2024. Mar;52(3):739-749.	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura, <b>Kenji Murata*</b>	2024年5月
2	Effect of repeated sciatic nerve crush on the conditioning lesion response: Generating an experimental animal model to prolong the denervation period while maintaining peripheral nerve continuity	共著	あり	○	Neurosci Lett. 2024 Jul 27;836:137879	Yuki Minegishi, Kaichi Ozone, Yuichiro Oka, Takuma Kano, <b>Kenji Murata</b> , Naohiko Kanemura	2024年6月
3	Genome-Wide Network Analysis of DRG-Sciatic Nerve Network-Inferred Cellular Senescence and Senescence Phenotype in Peripheral Sensory Neurons.	共著	あり	○	Mol Neurobiol. 2024 Dec 23. doi: 10.1007/s12035-024-04666-8.	Sora Kawabata, Hirotaka Iijima, Naohiko Kanemura, <b>Kenji Murata*</b>	2024年12月
4	Hormonal fluctuations in rodent models using 4-vinylcyclohexene diepoxide: A systematic review and meta-analysis.	共著	あり	○	Horm Behav.2025 Feb;168:105680. doi:10.1016/j.yhbeh.2025.105680.	Aoi Mashimo, Ryuga Oshida, Yuichiro Oka, Sora Kawabata, Chiharu Takasu, Kota Nihei, Takuma Kojima, Naohiko Kanemura, <b>Kenji Murata*</b>	2025年2月

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	The Role of Macrophage Extracellular Traps in Mechanical Stress-Induced Osteoarthritis: Integrated Analysis combining In vivo and In silico Approaches	共同	OARSI World Congress on Osteoarthritis 2024 , Austria(Volume 32, Supplement 1S471-S472April 2024)	○Sora Kawabata, Takuma Kojima, Hidenobu Terada, Chiharu Takasu, Shiori Nagata, Naohiko Kanemura, <u>Kenji Murata</u>	2024年 4月
2	変形性膝関節症患者における歩行中の内側広筋張力低下が関節軟骨に作用する圧力に与える影響	共同	第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 神奈川	○喜多俊介, 小栢進也, 王森彤, 堀内健太, 長谷和徳, 小泉弘明, 高柳清美, 小関博久, <u>村田健児</u>	2024年 9月
3	早期変形性膝関節症における遺伝子発現動態—バイオ インフォマティクス解析によるハブ遺伝子の特定—	共同	第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 神奈川	○山口 純汰, 川端 空, <u>村田 健児</u> , 金村 尚彦	2024年 9月
4	SPARC が変形性関節症を模倣した軟骨細胞の遺伝子 発現に及ぼす影響	共同	第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 神奈川	○島田直宜, 寺田秀伸, 小島拓真, 岡優一郎, 峯岸雄基, 福田京祐, 熊谷竜徳, 櫻井隆平, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2024年 9月
5	生体内凍結固定法はマウス坐骨神経の形態的特徴を明瞭に描出する	共同	第12回日本運動器理学療法学会学術大会, 神奈川	○福田 京祐, 島田直宜, 熊谷竜徳, 櫻井隆平, 久保田圭祐, 峯岸雄基, 甘利貴志, 坂本祐太, 志茂聡, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2024年 9月
6	運動療法が変形性膝関節症モデルマウスに与える影響	共同	第29回日本基礎理学療法学会学術大会, 東京	○岡優一郎, 峯岸雄基, 島田直宜, <u>村田健児</u> , 前島洋, 金村尚彦	2024年 10月
7	Network-based global analysis of the cellular senescence process and senescence phenotype in the peripheral sensory neurons of the dorsal root ganglia	共同	SFN Neurocience 2024, Chicago	○Sora Kawabata, Hiroataka Iijima, Naohiko Kanemura, <u>Kenji Murata</u>	2024年 11月
8	Irisinは軟骨細胞における異化・同化関連遺伝子の発現に影響を及ぼす	共同	第2回日本再生医療とリハビリテーション学会学術大会, 埼玉	○島田直宜, 寺田秀伸, 小島拓真, 峯岸雄基, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2024年 11月
9	ラット膝蓋下脂肪体の線維化は緩徐に進行する軟骨変性を惹起する	共同	第2回日本膝関節学会, 沖縄	○寺田秀伸, 高須千晴, 島田直宜, 金村尚彦, <u>村田健児</u>	2024年 12月
10	基礎的知見に基づく前十字靭帯断裂保存治療における急性期固定の提案	共同	第2回日本膝関節学会, 沖縄	○高須千晴, 寺田秀伸, 小島拓真, 島田直宜, 金村尚彦, <u>村田健児</u>	2024年 12月
11	Irisinは軟骨細胞における異化・同化関連遺伝子の発現変化を引き起こす	共同	第2回日本膝関節学会, 沖縄	○島田直宜, 寺田秀伸, 岡優一郎, 高須千晴, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2024年 12月
12	運動は軟骨細胞の耐性獲得に影響し得る - 網羅的遺伝子解析による検証-	共同	第 32 回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○小島拓真, 高須千晴, 寺田秀伸, 二瓶孝太, 曾根賢太, 眞下葵, 押田竜河, 金村尚彦, <u>村田健児</u>	2025年 1月
13	末梢神経損傷後の運動様式の違いが損傷軸索の再生や運動機能回復に及ぼす影響	共同	第 32 回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○佐藤路晃, 福田京祐, 島田直宜, 櫻井隆平, 金村尚彦, <u>村田健児</u>	2025年 1月
14	運動によるマクロファージの時空間的挙動が末梢神経損傷後の軸索再生に及ぼす影響	共同	第 32 回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○福田 京祐, 佐藤路晃, 島田直宜, 峯岸雄基, 坂本祐太, 甘利貴志, 志茂聡, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2025年 1月
15	運動が関節軟骨に及ぼす遺伝子変化の探索と検証	共同	第 32 回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○二瓶孝太, 川端空, 高須千晴, 眞下葵, 押田竜河, 曾根賢太, 金村尚彦, <u>村田健児</u>	2025年 1月
16	トレッドミル運動が修復型シュワン細胞の遺伝子発現動態に及ぼす影響	共同	第 32 回埼玉県理学療法学会, 埼玉	○峯岸雄基, 島田直宜, 櫻井隆平, 熊谷竜徳, 川端空, 加納拓馬, <u>村田健児</u> , 金村尚彦	2025年 1月

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	モーニングセミナー 2 司会 「幼児期の荷重と 膝関節疾患との関係 – 臨界期の予防リハビリテー ション開発に向けて–」		第12回日本運動器理学療法 学会学術大会, 神奈川	司会	2024年 9月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金（基盤C）		正常な自由運動と損傷組織への力学的 ストレスは前十字靭帯と半月板の 治癒を促進させる	研究分担者	2019.4-2025.3
2	文部科学省 科学研究費補助金（萌芽）		光遺伝学的手法と運動療法を併用し た末梢神経損傷後の新規治療戦略の 創出	研究分担者	2021.4-2025.3
3	埼玉大学との包括連携協定に基づく共同研 究		運動による軟骨変性予防メカニズム 解明に向けた細胞機能の検証 -細胞 膜流動性の変化に着眼して-	研究分代表者	2024.4-2025.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	発達障害理学療法学		2	脳性麻痺についての講義	
2	身体構造運動学	○	10	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD	
3	運動器理学療法学	○	6	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD	
4	医科学研究法（検査専攻）		1	理学療法分野における研究内容について講義	
5	理学療法研究法		0.5	理学療法分野における研究内容について講義	
6	理学療法応用解析学	○	8	生化学実験研究について実習及びハンズオントレーニング	
7	障害基礎解析学特論		2	大学院研究の基礎解析分野について講義	
8	リハビリテーション教育学		1	Active learningについて講義	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	理学療法特別演習		0.5	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説	
2	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		8	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当	
3	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		3	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当	
4	リハビリテーション学演習（障害基 礎解析学）		4	大学院研究の基礎解析分野について演習	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	運動学実習		10	2年生に対し、運動学についての実習を指導	
2	臨床教育実習Ⅰ		2週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実 習後のフィードバックを担当	
3	臨床教育実習Ⅱ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実 習後のフィードバックを担当	
4	臨床教育実習Ⅲ		8週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実 習後のフィードバックを担当	
5	臨床教育実習Ⅳ		5週間	2,3,4年生の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実 習後のフィードバックを担当	
6	運動器理学療法学実習		6	上肢・脊椎に関する講義：講義録画、VOD	
7	発達障害理学療法学実習		2	脳性麻痺についての講義	
8	IPW実習		集中	4年生IPW実習	

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4-2025.3	主指導	6名
2	修士論文	2024.4-2025.3	主指導 (指導教員)	4名
3	博士論文	2024.4-2025.3	主指導 (指導教員)	2名
			副指導 (指導補助教員)	1名
			副指導 (指導補助教員)	1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	春日部市立看護専門学校 (非常勤講師)	2024.4-2025.3	解剖・生理学Ⅰ、解剖・生理学Ⅱ	
2	有明医療大学 (非常勤講師)	2024.4-2025.3	リハビリテーション医学 (整形外科疾患, 介護保険, 評価)	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	専門職公開講座 (スキルアップ)	埼玉県立大学	肩関節の理学療法	2024年9月
2	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	肩の健康を守る～日常生活でできる肩ケアの秘訣～	2024年9月
3	講演会 (東部・南部・西部・北部・中央)	埼玉未来大学	肩こり予防につながる姿勢の改善	2025年2月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県理学療法学会	学術局編集部 (編集部長)	2024年4月～2025年3月	
2	専門リハビリテーション研究会	編集委員	2024年4月～2025年3月	
3	日本運動器理学療法学会発行. 運動器理学療法	調整委員 (査読委員)	2024年4月～2025年3月	
4	第12回日本運動器理学療法学会準備委員	準備委員	2024年4月～2025年3月	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	時事通信社 函館新聞, 十勝毎日新聞, 北國新聞 他	患部の固定が重要 慢性足関節不安定症	2024年5月	
2	日刊ゲンダイ、日刊ゲンダイDEGITAL	「捻挫」はなぜ癖になるのか	2025年2月	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	(医)草加整形外科内科	理学療法・教育支援	2024年4月～
2	産業支援	(医)やつか整形外科内科	理学療法・教育支援	2024年4月～
3	産業支援	(医)山手クリニック	理学療法・教育支援	2024年4月～
4	産業支援	(医)足のクリニック表参道	アドバイザー：研究支援	2024年4月～
5	地域貢献活動	(一般社団法人)ペラーダジュニアーズサッカースクール	アドバイザー (JFA公認C級ライセンス) : コーチングスタッフ (教育・研究・地域連携の一体的推進事業)	2024年4月～
6	地域貢献活動	県内高校サッカー部	フィジカルチェック (教育・研究・地域連携の一体的推進事業)	2025年3月
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会 (学部)		2024年4月～
2	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会		2024年4月～
3	研究開発センタープロジェクト	変形性膝関節症の病態進行予測モデルの開発と効果検証		2024年4月～
4	学長指定プロジェクトへの関与	教育・研究・地域連携の一体的推進事業 「地域スポーツコミッションの基盤構築に向けた取り組み -障害予防検診からスポーツと健康の教育・研究・活動を実践する」		2024年4月～
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			